

20. 業務効率向上のための「見える化」手法

企業にとって、間接・直接組織の生産性向上はいつの時代にも必要な取り組みです。この問題を普段から見える化し、どこに問題があるのか明確（＝数値化）にするため、業務分類として標準作業（価値作業）を決め、個人日報を運用します。この手法の導入～運用についてのポイントを解説します。

導入時、企業現場の訪問指導も可能です。企業内で業務の現場を管理するマネージャー以上の人材向けに、組織の業務効率を数値化する方法を解説し、これを「見える化」することで得られる効果と問題点について、事例も交えて解説します。

Point!

- 問題の見える化、数値化！
- 導入～運用ポイント解説



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構
 参加費：MRO 賛助会員 4,000 円（一般：8,000 円）
 会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110
 募集人員：15名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程

研修内容

9/11（水）
9:30～16:30

- この手法を導入するプロセスを解説
- 1) 業務の棚卸と業務フローの作成
 - 2) 価値作業の標準作業化
 - 3) 標準時間の決め方
 - 4) 技能マップの作成
 - 5) 生産性の指標は、能率×効率
 - 6) データから考察する問題点の絞り込み例

* 講師プロフィール

道下敦義（MROコーディネーター）新潟大学工学部（応用化学科）卒
 経歴：マックス㈱生産技術部、設備設計部、生産管理部等に在籍 工場のモノの流れ改革に長年取り組みました。
 近年の実績：IoTを使った現場改善、間接人材の業務効率化等

● HP から直接お申し込みができます



受講料について

- 受講後に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MROスキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日1週間前までは請求致しません。1週間以内の場合は全額を請求いたします。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAXなど記録の残る手段でお願いします。注）1週間：MRO（当財団）の6勤務日前17時までとします。

- 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 tel: 0276-50-2100, fax: 0276-50-2110
 E-Mail: mrokenshu(at)mro.or.jp ※(at)を@に変えて送信してください。

20. 業務効率向上のための「見える化」手法受講申込書

ご芳名（ふりがな）:

所属

役職

ご芳名（ふりがな）:

所属

役職

会社名

住所 〒

TEL

FAX

E-Mail